

# 「火の用心だより」

第132号(令和8年3月号)

発行：札幌市消防局予防部予防課

## 住宅用火災警報器の交換目安は10年です!!

ご自宅の天井を見上げると、住宅用火災警報器があると思います。住宅用火災警報器は、消防法により、原則すべての住宅に設置が必要になっています。まだ設置されていない住宅には早急に設置をお願いします。



住宅用火災警報器は、10年を目安に本体の交換をおすすめしています。電池切れだけではなく、内部のセンサー等が劣化し、火災を感知しなくなる可能性があるためです。

交換を検討している場合は、「連動型住宅用火災警報器」がおすすめです。連動型は、別の部屋で火災を感知した場合でも家中すべての警報器が鳴るため、家の中にいる全員が同時に火災を知ることができ、早期に消火・避難を開始できます。



【連動型住警器の仕組み】

## 住宅用火災警報器の点検方法等をお知らせ!!

### ◆住宅用火災警報器の点検方法◆

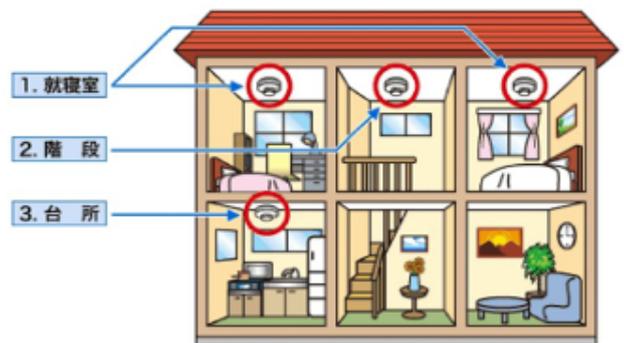
電池切れや故障している場合は、火災が起きてても警報が鳴りません。

警報器の点検ボタンやひもで、正常に作動するか確認しましょう。



### ◆正しい設置場所◆

- ① 就寝室
  - ② 階段（寝室がある階の階段の天井です）
  - ③ 台所
- ※ 建物構造によっては①～③以外にも必要となりますので、お近くの消防署へお問い合わせください。



# こんろ火災を防ぐために (IH クッキングヒーター編)

令和7年中に発生した住宅火災187件のうち、こんろ火災は37件で発生しています(速報値)。

火を使わないIHクッキングヒーター(以下「IH」という。)でも、こんろ火災は発生しています。IHは温度設定ができる利便性がありますが、取扱い方法を誤ると大変危険です。てんぷら油を揚げ物設定で調理していない場合や、鍋底が反っている鍋の使用、てんぷら油の量の不足などにより、IHに付いている過熱防止装置が正常に作動しないことがありますので、取扱説明書を確認し、適切な取扱いを心がけましょう。

こんろ火災を防ぐためには、ガスこんろもIHこんろも、調理中は目を離さないことがなにより大切です。

## ◆IHによるてんぷら油の過熱発火の様子◆

スマートフォンをお持ちの方は、こちらをチェックしてみてください!



# たばこ火災を未然に防ぎましょう!!

令和6年中に発生したたばこ火災が42件に対して、令和7年中には60件と大幅に増加しています(令和7年中の火災件数は速報値)。

たばこの火種が、燃えやすい物の上や綿製の座布団等の上に落ち、炎が無い状態でくすぶり続ける事を「無炎燃焼」といいます。時間をかけてゆっくり無炎燃焼を継続し、ある程度燃えこんだ後、空気のながれ等の周囲の条件によって炎があがり、一気に燃え広がるおそれがあります。

## ◆たばこの火種が布団に落下し、発火する様子◆



- 吸い殻は火が完全に消えたことを確認してから捨てる!
- 必ず灰皿のあるところで吸い、灰皿には水を入れておく!
- 寝たばこ、くわえたばこ、歩きたばこは絶対にしない!
- 吸い殻のポイ捨ては絶対にしない!



### 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境をつくりましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎011-215-2040

SAPPORO

